

(別添 1) 公的医療機関等 2025 プランの概要

【医療機関名：北信総合病院】

項目	内容
1 現在の医療機能	<p>(1)病床機能ごとの病床数</p> <ul style="list-style-type: none">1)高度急性期 63 床2)急性期 274 床3)慢性期 38 床 <p>(2)救急告示病院などの役割</p> <p>救急告示病院のほかに、地域災害拠点病院、地域がん診療病院、地域周産期母子医療センターの指定を受けている。</p> <p>救急・小児・周産期・災害等の不採算・特殊部門に関わる医療を提供しており、政策医療や 5 疾病 5 事業とも重複し、県民が求めている機能(平成 28 年度県民医療意識調査結果)とも一致している。北信医療圏には公立病院がなく、当院がその役割を担っている。</p> <p>(3)算定する診療報酬(基本料)</p> <ul style="list-style-type: none">1)一般 7:1 入院基本料2)療養 25:1 療養病棟入院基本料 23)精神 13:1 入院基本料 <p>(4)診療科</p> <p>内科、精神科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、内分泌内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、美容外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科、歯科口腔外科、救急科</p>
2 医療機関が抱える課題	<p>(1)提供する入院医療に関する課題</p> <p>他院からの紹介が年々増加しており、限られた病床、マンパワーで対応するには、在院日数を短くし退院後スムーズに地域へ戻ることができる仕組み作り等、連携強化が必要。</p> <p>(2)開業医等との連携</p> <p>将来的に外来患者数の減少が見込まれ、在宅へシフトする上で、今まで以上に病病連携、病診連携の強化が必要となる。</p>

<p>3 課題を踏まえた 将来の医療機能・ 担うべき役割</p>	<p>(1)病床機能ごとの病床数 変更なし</p> <p>(2)今後担うべき役割 急性期医療を中心に、不採算・特殊部門を抱えつつ保健・医療・福祉を 一体的に提供していく。</p> <p>(3)算定を予定している診療報酬 1)地域包括ケア病棟入院料1</p> <p>(4)診療科 変更なし</p>
<p>4 将来に向けた取 り組みスケジュール</p>	<p>(1)将来の病床機能の転換に向けた検討スケジュール 2018年度 地域包括ケア病棟を開設。</p> <p>(2)総合確保基金等の活用希望時期 2018年度、がん診療施設設備整備事業として医療器械取得の計画を 申請中。</p>
<p>5 数値目標</p>	<p>・平均在院日数 16.5日</p> <p>・病床稼働率 93.1%(2016年度実績を維持)</p> <p>※新生児の数および療養・精神を含みます。</p>